

幸せに暮らせる街を
目指して頑張ります!



住んで良かったと
実感できる街 碧南

No.74 特別号
石川てるひこ後援会
〒447-0861
碧南市六軒町4-75
TEL 0566-41-3321

住み続けたい快適なまちづくり

- 災害時に備えた防災力の強化
- 犯罪抑止に向けた取り組みの強化
- 少子高齢化社会に対応した福祉施策の拡充
- 環境にやさしい交通体系の整備促進
- 観光・商業振興による街の活性化の推進



道路の液状化対策

市民と共に発展するまちづくり

- 定住促進に向けた諸施策の推進
- 土地利用の変更による就労・居住できる場の確保
- 未来を担うことができる学校教育の充実
- 安心して働くことのできる保育・介護施策の充実
- 東京オリンピックやアジア大会を見据えたスポーツ施策の充実



ビーチテニスコート

次世代に引き継ぐことのできるまちづくり

- 地域主権と広域行政による行財政改革の推進
- 老朽化した公共施設の再配置と有効活用の推進
- 次世代に残す事のできる環境施策の推進
- 中小企業政策拡充と新産業の創出の推進
- リニア新幹線・中部国際空港を活用した未来構想の検討



電の子街道プロジェクト

石川てるひこ 活動ギャラリー



いし かわ 石川てるひこ



ご挨拶

皆様の暖かいご支援をいただき5期目のチャレンジをさせていただくことになりました「石川てるひこ」でございます。

私はこの4期16年間、安心・安全に暮らすことのできる街を目指し、「防災対策のあり方」「税金の使い方の適正化」そして「議会活動の見える化」に向けて全力で取り組んでまいりました。

少子高齢化の進行や働き方・産業構造の大きな転換期を迎え、行政運営も「あれもこれも」の時代から「あれかこれか」の時代となり、市民の皆さんとともに碧南市の未来を考える中で、「住んで良かったと実感できる街 碧南」に向けて取り組んでいく必要があります。

引き続き、「幸せに暮らせる街」「未来が安心できる街」を目指し取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

石川輝彦プロフィール

- ▶ 昭和39年6月 碧南市に生まれる
- ▶ 昭和58年4月 アイシン精機株式会社 入社
- ▶ 昭和59年2月 アイシン高等学園 卒業
- ▶ 平成 8年9月 アイシン労働組合 中央執行委員
- ▶ 平成24年9月 アイシン労働組合 顧問

- | 議会 | 議員活動 |
|-----------------------|------------------------------|
| ▶ 平成16年4月 碧南市議会議員 初当選 | ▶ 平成20年3月 碧南市少年少女発明クラブ指導員 |
| ▶ 平成24年5月 衣浦衛生組合議会 議長 | ▶ 平成22年3月 碧南工業高等学校 学校評議員 |
| ▶ 平成26年5月 碧南市議会 副議長 | ▶ 平成23年3月 へきなんまちおこしを考える会事務局長 |
| ▶ 平成29年5月 碧南市議会 議長 | ▶ 平成27年4月 へきなん自転車散歩実行委員 |
| ▶ 平成30年5月 碧南市 監査委員 | ▶ 平成28年4月 碧南市陸上競技協会 顧問 |

- その他の活動

碧南市議会議員
石川輝彦

石川てるひこ 4期16年間の主な取り組み

【働く者】 【納税者】 【生活者】

の代表として

防災対策の推進

議員になった当初からの「水に囲まれた碧南市において、防災対策の終わりはない!」との考えの基、市民が安全に安心して暮らすことができるよう、取り組んできました。

この間、福井県越前市との「防災協定」の締結と年に1度の両市防災担当者による「意見交換会」の実施、『標高マップ』の作成と全戸配布、『防災メール』の発信、『地域連携企業防災力向上事業(BCP)』の推進、『耐震シェルター整備費補助』の制度化、更には「災害の備えを学ぶ会」の立ち上げと『避難所運営マニュアル』の作成、『避難所運営訓練』などを実現しきました。

防災情報メール配信
2012年6月7日付
中日新聞掲載

2012年6月7日付
中日新聞掲載



道路網の整備

碧南市を縦貫する道路の整備は遅れ、特に朝夕の通勤時間帯では慢性的な渋滞が繰り返されています。このため、渋滞における環境問題対策や交通安全対策、そして物流改善対策の視点から取り組んできました。

この間、臨海公園付近の道路改良や交差点改良による臨海6号地への進入道路の新設、国道247号線インターチェンジの改良、新川港線や吉浜棚尾線の開通、信号機のタイミング調整による渋滞解消などを実施してきました。

現在、愛知県知事との直接交渉により、国道247号線(産業道路)の4車線化に向けて事業を進めています。



子育て支援の拡充

一億総活躍が叫ばれる中、女性の社会進出や共働きの家庭が当たり前となってきており、保育ニーズは高まっています。働く仲間が安心して働くことができるよう取り組んできました。

この間、0歳児受け入れ保育園の拡大や低年齢児受け入れ保育園の拡充、休日保育の実施、児童クラブの拡充を行い受け入れ学年を6年生までにするなど取り組み、実現してきました。また児童発達支援やアレルギー給食の対応等にも提言し、前進しつつあります。



議長として【平成29年5月16日~平成30年5月16日】



平成29年5月16日に開催されました臨時議会におきまして、第69代碧南市議会議長を拝命されました。

議長就任時、「公正無私で民主的かつ効率的な議会運営に努め、市長との二元代表制を念頭に置き、開かれた議会を目指すとともに、市民の幸福と市政の発展のため、全力で取り組む」と、議員の皆さん、そして市民の皆さんとお約束させていただき、1年間取り組みました。

議会の見える化

“政治にふれる”ことを目的に、平成29年12月7・8日には碧南高等学校商業科の生徒さんの「定例議会の議会傍聴」を、平成30年5月2日には新川小学校2年の児童さんの「議場見学」を実施しました。

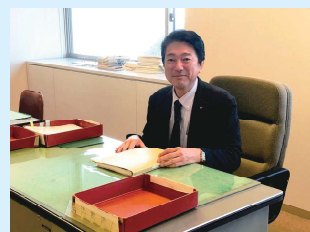
また会議のインターネット中継では、これまで“本会議”のみの配信であったものを、“委員会室にカメラを設置”し、平成30年12月の定例議会より配信させることを実現しました。



議長としての足跡



監査委員として【平成30年5月16日~令和元年5月16日】



平成30年5月16日に開催されました臨時議会におきまして、碧南市監査委員に就任しました。

労働組合出身の初の議会選出監査委員として、公金の適正な使い方と職員の働き方の適正化に向けて、1年間取り組みました。

公金浪費の指摘



平成26年度より利用が開始されている碧南市福祉センターの2階駐車場に障がい者等の利便性向上のため、平成28年度にカーポートが設置されました。

しかし、平成30年7月に説明もないままに急速撤去されてしまいました。

この理由を追及すると、カーポート設置時の建築許可の未届け、予算がオーバーしたために指定管理者との費用の折半、カーポート撤去費用の流用など、多くの課題が浮き彫りとなりました。

工事費 市と社協が折半
碧南市福祉センターの2階駐車場に障がい者等の利便性向上のため、平成28年度にカーポートが設置されました。しかし、平成30年7月に説明もないままに急速撤去されてしまいました。この理由を追及すると、カーポート設置時の建築許可の未届け、予算がオーバーしたために指定管理者との費用の折半、カーポート撤去費用の流用など、多くの課題が浮き彫りとなりました。

2018年11月6日付
中日新聞掲載